



日本共産党品川区議会議員

# 週刊 みやざき克俊

2011年2月 特別号

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674



共産党 品川

検索

転落防止の「可動柵」

東急線  
大井町駅

# ホームドア設置へ

## 行政から経費の3分の1を補助

写真上は東急大岡山駅。目黒駅方面のホームには、すでにホームドアが設置されています。

下は東急大井町駅。このホーム両側にホームドアが設置されます。



鉄道事業者が駅ホームに転落防止ホームドアを設置する場合、行政から経費の3分の1を補助します。今回は総額9千330万円の補助を都と区が半分ずつ負担します。

東急大井町駅のホームに転落防止ホームドア(可動柵)が設置されることになりました。品川区の新年度予算に設置工事への補助金が盛り込まれます。共産党は鉄道駅へのホームドア設置を求めてきましたが、東急大井町駅の設置が決まりました。

### 共産党は東急電鉄に ホームドア設置を要請

ホームからの転落防止ホームドアの設置は視覚障害者団体などから強い要望があり、JR東日本は山手線全駅への設置を発表。東急線は東横線など一部駅で設置されましたが、大井町線の計画はありませんでした。

住民から下神明駅のエレベーター工事にあわせてホームドア設置の要望が寄せられ、共産党支部のメンバーと私(みやざき)は昨年東急電鉄に下神明駅と東急全駅へのホームドア設置を要請。対応した下神明駅改修の担当課長さんはバリアフリー法ではホームドア設置は義務ではないとしながらも「要請は受けました」とのべていたものです。



日本共産党品川区議会議員

# 週刊 みやさき克俊

2011年2月 特別号

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674



共産党 品川

検索

## 高齢者の入院支援金制度を

### 共産党が条例制定を提案！ 今回で4回目です。



実現できる  
よう応援し  
てください。

### 日本共産党区議団が提案している 高齢者の入院支援金条例 (要旨)

- ①対象は、75歳以上の品川区民。
- ②目的は、入院や日用品購入の負担軽減。  
(ただし、差額ベッド代など保険外医療は対象外)
- ③支給額は、月額1万円を上限。
- ④実施は、2011年4月から。

予算は年間およそ2億円。品川区は毎年数十億円(新年度も25億円)を貯金にまわしており、やり繰りは十分可能です。

日本共産党品川区議団は議会に高齢者の入院費用負担を軽減するための支援金制度創設の条例制定を提案します。提案は今回で4回目。同様の制度は23区でも千代田区、新宿区、中野区が導入。日の出町は独自で75歳以上の医療費を無料にしています。

日本共産党の提案は、75歳以上の区民が医療機関に入院した場合、月額1万円を限度に支援金を支給するもの。差額ベッド代と保険外診療を除いた入院費や下着などの日用品購入、紙オムツ代にも使えるようにして入院負担を軽減します。

戸越4丁目に住む67歳の男性は国民年金では足りずシルバーで働いています。「腰痛の貼り薬2週間分を1ヶ月もたせている。入院したら大変だ。子どもは医療無料だが年寄りも支援してほしい」と入院支援金制度の実現を待ち望んでいます。

年寄りも  
応援してほしい



困り  
のときは

お気軽に  
ご相談ください

みやさき克俊事務所  
Tel.3786-6674



法律相談は毎月開催